

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月10日

上場会社名 ニッセイ同和損害保険株式会社
 コード番号 8759 URL <http://www.nissaydowa.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計グループ長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大

(氏名) 立山 一郎

(氏名) 内山 雪絵

TEL 03-5550-0232

(注)金額は記載単位未満を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しております。

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	76,814	△1.8	3,915	△6.5	2,851	7.9
21年3月期第1四半期	78,193	—	4,186	—	2,643	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	7.51	—
21年3月期第1四半期	6.95	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	1,119,107	209,168	18.7	551.08
21年3月期	1,100,172	184,364	16.8	485.73

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 209,168百万円 21年3月期 184,364百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	8.00	8.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	正味収入保険料		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	155,000	△0.5	5,500	15.2	2,500	0.0	6.58
通期	312,500	0.5	11,000	—	4,500	—	11.85

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	390,055,814株	21年3月期	390,055,814株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	10,499,544株	21年3月期	10,495,796株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	379,558,219株	21年3月期第1四半期	379,845,621株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであるため、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界的な金融市場の混乱とその後の経済の減速の影響を受け、企業収益は極めて大幅に減少、雇用情勢は急速に悪化するなど、景気は一部で持ち直しの動きが見られるものの依然厳しい状況となりました。

損害保険業界におきましては、このような経済動向のなか、新車販売台数の落ち込みや荷動き不振による自動車保険・貨物保険への影響などにより、保険料収入は減収となりました。

このような情勢のなか、当社は、引き続き「経営品質革新」を最重要課題とし、代理店における「お客さまいちばん！品質基準」や、本年4月1日に制定した「ニッセイ同和損保グループ行動規範」に基づき、お客さまの視点に立った業務遂行体制の一層の強化に励み、お客さまの満足度向上に全社を挙げて取り組んでまいりました。

このような施策を展開いたしました結果、経常収益につきましては、保険引受収益が848億円、資産運用収益が66億円、その他経常収益が2億円となり、前第1四半期会計期間に比べ29億円減少して916億円となりました。

一方、経常費用につきましては、保険引受費用が720億円、資産運用費用が17億円、営業費及び一般管理費が134億円、その他経常費用が4億円となり、前第1四半期会計期間に比べ26億円減少して877億円となりました。

この結果、経常利益は前第1四半期会計期間に比べ2億円減少して39億円となりました。

これに特別損益、法人税及び住民税並びに法人税等調整額を加減した四半期純利益は28億5千1百万円となり、前第1四半期会計期間に比べ2億7百万円増加いたしました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ189億円増加して1兆1,191億円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前事業年度末に比べ248億円増加して2,091億円となりました。

この結果、自己資本比率は18.7%、1株当たり純資産額は551円8銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期累計期間に比べ84億円減少して56億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得による支出の減少などにより、前第1四半期累計期間に比べ176億円増加して11億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期累計期間と同程度の30億円の支出となりました。

これらの結果、当第1四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は463億円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月20日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	27,588	32,803
コールローン	19,200	24,300
有価証券	856,560	810,817
貸付金	39,194	40,785
有形固定資産	56,122	56,778
無形固定資産	236	236
その他資産	77,422	78,144
繰延税金資産	43,619	57,153
貸倒引当金	△833	△844
投資損失引当金	△2	△2
資産の部合計	1,119,107	1,100,172
負債の部		
保険契約準備金	882,476	884,604
支払備金	124,727	125,808
責任準備金	757,749	758,795
その他負債	26,491	29,678
未払法人税等	436	780
その他の負債	26,055	28,898
退職給付引当金	209	337
賞与引当金	—	580
特別法上の準備金	761	607
価格変動準備金	761	607
負債の部合計	909,939	915,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,328	47,328
資本剰余金	40,307	40,307
利益剰余金	73,596	73,781
自己株式	△4,939	△4,938
株主資本合計	156,292	156,479
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,875	27,885
評価・換算差額等合計	52,875	27,885
純資産の部合計	209,168	184,364
負債及び純資産の部合計	1,119,107	1,100,172

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
経常収益	94,631	91,683
保険引受収益	84,936	84,811
(うち正味収入保険料)	78,193	76,814
(うち収入積立保険料)	4,223	3,718
(うち積立保険料等運用益)	2,305	2,047
(うち支払備金戻入額)	—	1,081
(うち責任準備金戻入額)	—	1,046
資産運用収益	9,486	6,649
(うち利息及び配当金収入)	8,725	6,792
(うち有価証券売却益)	2,726	1,536
(うち積立保険料等運用益振替)	△2,305	△2,047
その他経常収益	209	222
経常費用	90,445	87,767
保険引受費用	74,771	72,019
(うち正味支払保険金)	45,616	46,647
(うち損害調査費)	4,043	4,054
(うち諸手数料及び集金費)	13,634	13,655
(うち満期返戻金)	8,642	7,623
(うち支払備金繰入額)	678	—
(うち責任準備金繰入額)	2,119	—
資産運用費用	1,321	1,753
(うち有価証券売却損)	507	1,344
(うち有価証券評価損)	96	169
営業費及び一般管理費	14,191	13,495
その他経常費用	159	499
(うち支払利息)	0	0
経常利益	4,186	3,915
特別利益	0	0
特別損失	239	450
特別法上の準備金繰入額	167	153
価格変動準備金繰入額	167	153
その他	71	297
税引前四半期純利益	3,948	3,464
法人税及び住民税	3,196	1,227
法人税等調整額	△1,892	△614
法人税等合計		613
四半期純利益	2,643	2,851

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,948	3,464
減価償却費	874	787
減損損失	12	—
支払備金の増減額(△は減少)	678	△1,081
責任準備金の増減額(△は減少)	2,119	△1,046
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△10
投資損失引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△529	△127
賞与引当金の増減額(△は減少)	△366	△580
価格変動準備金の増減額(△は減少)	167	153
利息及び配当金収入	△8,725	△6,792
有価証券関係損益(△は益)	△2,036	△57
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	△290	△303
有形固定資産関係損益(△は益)	59	14
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は増加)	4,499	2,023
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は減少)	△1,749	899
その他	143	△8,711
小計	△1,220	△11,367
利息及び配当金の受取額	8,717	7,175
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△4,714	△1,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,782	△5,642
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額(△は増加)	620	495
有価証券の取得による支出	△72,561	△57,427
有価証券の売却・償還による収入	50,960	54,350
貸付けによる支出	△607	△476
貸付金の回収による収入	2,921	2,067
資産運用活動計	△18,666	△990
営業活動及び資産運用活動計	△15,883	△6,632
有形固定資産の取得による支出	△160	△151
有形固定資産の売却による収入	6	5
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,820	△1,135

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	—	△2
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△6	△1
配当金の支払額	△3,038	△3,036
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,045	△3,040
現金及び現金同等物に係る換算差額	△130	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19,212	△9,820
現金及び現金同等物の期首残高	78,742	56,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,530	46,388

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

当四半期の損益状況

(単位:百万円)

区 分		前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	比較増減	増減率
元受正味保険料(含む収入積立保険料)①		93,096	95,589	2,492	2.7%
(元受正味保険料)②		(88,872)	(91,870)	(2,998)	(3.4)
経常	保険引受収益③	84,936	84,811	△124	△0.1
	(うち正味収入保険料)④	(78,193)	(76,814)	(△1,378)	(△1.8)
	(うち収入積立保険料)⑤	(4,223)	(3,718)	(△505)	(△12.0)
	保険引受費用⑥	74,771	72,019	△2,752	△3.7
	(うち正味支払保険金)⑦	(45,616)	(46,647)	(1,030)	(2.3)
	(うち損害調査費)⑧	(4,043)	(4,054)	(11)	(0.3)
	(うち諸手数料及び集金費)⑨	(13,634)	(13,655)	(20)	(0.1)
	(うち満期返戻金)⑩	(8,642)	(7,623)	(△1,018)	(△11.8)
	資産運用収益⑪	9,486	6,649	△2,836	△29.9
	(うち利息及び配当金収入)⑫	(8,725)	(6,792)	(△1,932)	(△22.2)
(うち有価証券売却益)⑬	(2,726)	(1,536)	(△1,190)	(△43.7)	
資産運用費用⑭	1,321	1,753	431	32.6	
(うち有価証券売却損)⑮	(507)	(1,344)	(836)	(164.7)	
(うち有価証券評価損)⑯	(96)	(169)	(72)	(74.4)	
営業費及び一般管理費⑰	14,191	13,495	△695	△4.9	
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)⑱	(13,251)	(12,544)	(△706)	(△5.3)	
その他経常損益⑲	49	△276	△326	△656.4	
経常利益⑳	4,186	3,915	△271	△6.5	
(保険引受利益)㉑	(△2,615)	(485)	(3,100)	(—)	
特別損益					
特別利益㉒	0	0	△0	△72.3	
特別損失㉓	239	450	211	88.4	
特別損益㉔	△238	△450	△211	—	
税引前四半期純利益㉕	3,948	3,464	△483	△12.2	
法人税及び住民税㉖	3,196	1,227	△1,968	△61.6	
法人税等調整額㉗	△1,892	△614	1,277	—	
法人税等合計㉘	—	613	—	—	
四半期純利益㉙	2,643	2,851	207	7.9	
諸比率					
正味損害率㉚	63.5%	66.0%			
正味事業費率㉛	34.4	34.1			

(注) 1. 保険引受利益=保険引受収益 - (保険引受費用+保険引受に係る営業費及び一般管理費) ±その他収支

なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などでありませう。

2. 正味損害率= (正味支払保険金+損害調査費) / 正味収入保険料×100

3. 正味事業費率= (諸手数料及び集金費+保険引受に係る営業費及び一般管理費) / 正味収入保険料×100

種目別保険料・保険金

元受正味保険料(除く収入積立保険料)

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	13,792	15.5	△ 2.1	15,150	16.5	9.8
海 上	1,798	2.0	0.8	1,426	1.6	△20.7
傷 害	8,134	9.2	△ 2.8	8,074	8.8	△ 0.7
自 動 車	41,117	46.3	△ 1.0	41,209	44.9	0.2
自動車損害賠償責任	10,992	12.4	△ 7.2	9,115	9.9	△17.1
そ の 他	13,037	14.7	2.0	16,893	18.4	29.6
合 計	88,872	100.0	△ 1.7	91,870	100.0	3.4

正味収入保険料

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日〕		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (△)率(%)
火 災	9,599	12.3	0.8	9,936	12.9	3.5
海 上	1,121	1.4	△ 7.1	998	1.3	△10.9
傷 害	7,746	9.9	△ 2.4	7,655	10.0	△ 1.2
自 動 車	41,034	52.5	△ 1.0	41,082	53.5	0.1
自動車損害賠償責任	8,952	11.4	△ 3.2	6,865	8.9	△23.3
そ の 他	9,738	12.5	△ 0.9	10,276	13.4	5.5
合 計	78,193	100.0	△ 1.2	76,814	100.0	△ 1.8

正味支払保険金

区 分	前第1四半期累計期間 〔自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日〕			当第1四半期累計期間 〔自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日〕		
	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味 損害率(%)	金額 (百万円)	対前年増減 (△)率(%)	正味 損害率(%)
火 災	3,834	△ 9.6	41.8	4,030	5.1	42.3
海 上	758	16.5	71.1	923	21.7	96.3
傷 害	3,711	△28.1	52.4	4,069	9.6	57.8
自 動 車	25,069	△ 8.2	67.5	25,079	0.0	67.4
自動車損害賠償責任	6,887	1.5	83.9	6,721	△ 2.4	107.0
そ の 他	5,354	15.8	57.4	5,823	8.7	59.0
合 計	45,616	△ 6.5	63.5	46,647	2.3	66.0

(注) 正味損害率は正味支払保険金に損害調査費を加えて算出しております。

有価証券関係

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)及び前事業年度末(平成21年3月31日)
該当事項はありません。

2. 子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)及び前事業年度末(平成21年3月31日)
該当事項はありません。

3. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:百万円)

種 類	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)			前事業年度末 (平成21年3月31日)		
	取得原価	四半期貸借 対照表計上額	差 額	取得原価	貸借対照 表計上額	差 額
公 社 債	335,121	338,805	3,684	343,912	345,601	1,689
株 式	205,758	298,404	92,646	205,900	263,897	57,996
外 国 証 券	209,008	194,259	△14,749	186,739	169,938	△16,801
そ の 他	6,759	8,154	1,395	13,445	14,404	958
合 計	756,647	839,624	82,977	749,998	793,841	43,842

当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
その他有価証券で時価のあるものについて、158百万円の減損処理を行っております。なお、当該有価証券の減損にあたっては、当四半期会計期間末の時価が取得原価に比べて30%以上下落しているものを全て減損処理の対象としております。	その他有価証券で時価のあるものについて、18,737百万円の減損処理を行っております。なお、当該有価証券の減損にあたっては、当事業年度末の時価が取得原価に比べて30%以上下落しているものを全て減損処理の対象としております。

金銭の信託関係

1. 満期保有目的の金銭の信託

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)及び前事業年度末(平成21年3月31日)
該当事項はありません。

2. 運用目的、満期保有目的以外の金銭の信託

当第1四半期会計期間末(平成21年6月30日)及び前事業年度末(平成21年3月31日)
該当事項はありません。

デリバティブ取引関係

(単位:百万円)

対象物の種類	取引の種類	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)			前事業年度末 (平成21年3月31日)		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
株式	株価指数先物取引 買建	385	382	△2	-	-	-
合 計		-	-	△2	-	-	-

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は除いております。

(参考) 上記以外で時価ヘッジを適用しているものは以下のとおりであります。

(単位:百万円)

対象物の種類	取引の種類	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)			前事業年度末 (平成21年3月31日)		
		契約額等	時 価	評価損益	契約額等	時 価	評価損益
通貨	為替予約取引 売建	121,555	122,185	△629	104,563	110,402	△5,838
合 計		-	-	△629	-	-	△5,838

ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末 (平成21年3月31日)
(A) ソルベンシー・マージン総額	427,162	386,106
資本金又は基金等	156,292	153,442
価格変動準備金	761	607
危険準備金	183	176
異常危険準備金	136,275	135,350
一般貸倒引当金	57	56
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	74,530	39,305
土地の含み損益	20,400	20,129
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
控除項目	—	—
その他	38,660	37,035
(B) リスクの合計額	90,154	90,305
$\sqrt{(R_1 + R_2)^2 + (R_3 + R_4)^2} + R_5 + R_6$		
一般保険リスク(R ₁)	19,993	19,996
第三分野保険の保険リスク(R ₂)	—	—
予定利率リスク(R ₃)	1,089	1,089
資産運用リスク(R ₄)	34,921	32,583
経営管理リスク(R ₅)	2,058	3,052
巨大災害リスク(R ₆)	46,907	48,090
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A) / {(B) × 1/2}] × 100	947.6%	855.1%

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

なお、当第1四半期会計期間末のソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの一部を前事業年度末と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

<ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立型保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」(上表の(B))に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(すなわちソルベンシー・マージン総額:上表の(A))の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」(上表の(C))であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額であります。
 - ①保険引受上の危険(一般保険リスク) : 保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険(巨大災害に係る危険を除く。)
 - ②予定利率上の危険(予定利率リスク) : 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
 - ③資産運用上の危険(資産運用リスク) : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
 - ④経営管理上の危険(経営管理リスク) : 業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの
 - ⑤巨大災害に係る危険(巨大災害リスク) : 通常の予測を超える巨大災害(関東大震災や伊勢湾台風相当)により発生し得る危険
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」(ソルベンシー・マージン総額)とは、損害保険会社の純資産(社外流出予定額等を除く)、諸準備金(価格変動準備金・異常危険準備金等)、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつであります。その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結) 補足資料

証券化商品等への投資状況

<投資状況>

①特別目的事業体(SPEs)一般

当該資産の投資実績・保有はありません。

②債務担保証券(CDO)

当該資産の投資実績・保有はありません。

③その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

当該資産の投資実績・保有はありません。

④商業用不動産担保証券(CMBS)

当該資産の投資実績・保有はありません。

⑤レバレッジド・ファイナンス

当該資産の投資実績・保有はありません。

⑥資産担保証券(ABS)

当該資産の投資実績・保有はありません。

⑦債券担保証券(CBO)

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
債券担保証券(CBO)	34	▲0	—
シニア	24	▲0	—
メザニン	9	▲0	—
エクイティ	—	—	—

※裏付資産は国内資産

⑧その他

(単位:億円)

	時価	含み損益	実現損益
その他	14	▲1	—
変動利付債券	9	▲0	—
ヘッジファンド	5	▲0	—

以 上